



令和4年産米の作柄と次年度対策

1 令和4年産米の作柄と品質の概況

阿賀野市の令和4年産の作柄は、早生品種はほぼ平年並の収量となりましたが、出穂後の高温や登熟中期以降の日照不足の影響を受け品質は不良となりました。

コシヒカリ、新之助は出穂後からの日照不足等の影響による登熟不良と登熟後期の乾燥などにより屑米が多くなり、収量は並～やや不良となりました。しかし、品質は高温登熟、ダシ風や台風の影響が少なかったことなどから1等級比率は高く良質米が生産されました。

近年、コシヒカリ等中・晩生品種でも増加傾向の斑点米による格落ちは、今年は例年どおり早生品種が中心となりました。コシヒカリは、割削の発生率が平年よりやや低かったことや、共同防除等の効果の向上で、発生が減少したと推測されます。

表1 作柄概況と1等級比率(10月末現在)

作況	品質	1等級比率 (%)		
		区分	コシヒカリ	こしいぶき
下越	98 (平年並)	あがのアグリセンター管内	89.6	61.3
新潟県	99 (平年並)	ささかみアグリセンター管内	89.1	32.7
全国	100 (平年並)	阿賀野市全体	89.4	52.7

※飼料用米を除く
※CE分を含む

2 収量構成要素から見た作柄や品質に影響した主な事項

穂数
早生：並～やや多
中生：並～やや多
晩生：やや多～多

一穂粒数
早生：やや少～並
中生：やや多～多
晩生：やや多～多

m²粒数
早生：並
中生：やや多～多
晩生：多

作況指数 98
(下越)

玄米重
534kg/10a
(1.85篩目収量)

※作況指数：北陸農政局
11月9日公表10/25現在

登熟
早生：並
中生：並～やや不良
晩生：不良

千粒重
早生：やや大
中生：並
晩生：小

品質
早生：不良
中生：やや良
晩生：並

- 苗質：並～やや不良
・高温障害(ヤケ苗)や病害(馬鹿苗等)発生少
・苗は播種後の高温多照で生育が進み、一部で老化傾向
- ワキ、アオミドロの発生：やや多い
- 初期生育：やや良(地域差あり)
・ダシ風、アオミドロ、ワキ、表層剥離の影響を受けたほ場は、初期生育遅れる
- 最高分けつ期の茎数：やや多い
・5月～6月下旬の高温多照で分けつ旺盛
・稲の生育の進みに併せて概ね適期での中干しの実施。初期生育の遅れたほ場等は遅めの傾向
- 6月中旬以降の高温・多照で生育進む
- 7月初旬、急激に葉色低下
・分施肥系では適期適量の2回穂肥、一発肥料体系では追肥の実施。一葉色回復
- 7月下旬～8月上旬は高温で早生品種高温登熟
- 8月の日照不足で早中晩生品種登熟不良
- ほ場内、株内で出穂のバラつき
・登熟のバラつき有り
- ダシ風の影響少
- 9月5～6日の風、9月23～24日の降雨や台風14号の影響により、稈長が長いコシヒカリを中心に徐々に倒伏が進む
- 8月第5半旬～9月第1半旬、9月第4～第5半旬の降雨、刈り遅れにより胴割粒の発生を助長
- 8月第1半旬の降雨の影響で防除延期、早生品種を中心に斑点米被害の発生

問題となった事項

- ・土作り資材の施用率が低い
- ・除草剤の田植え同時散布で薬害発生やや多い
(ほ場の均平、処理後の水管理、アオミドロ対策)

- ・中干し開始の遅れ
- ・中干し後の雑草多発生
(ヒユ、クサネム等)

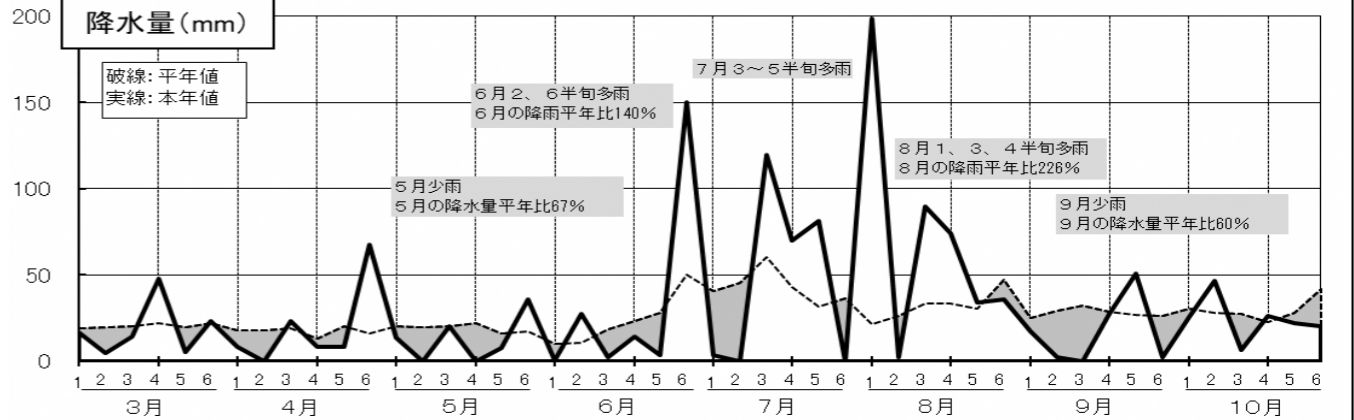
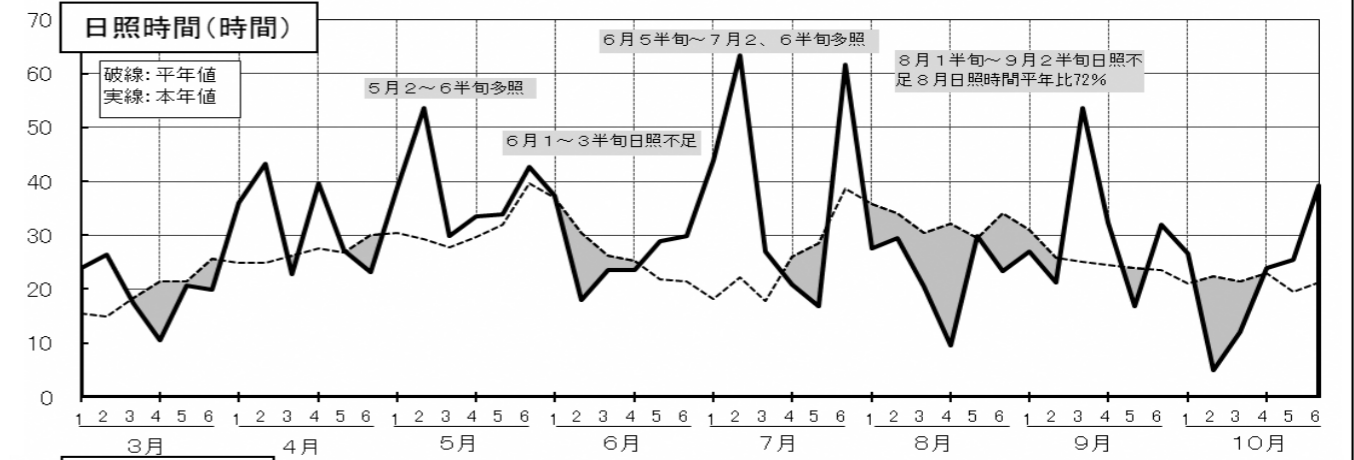
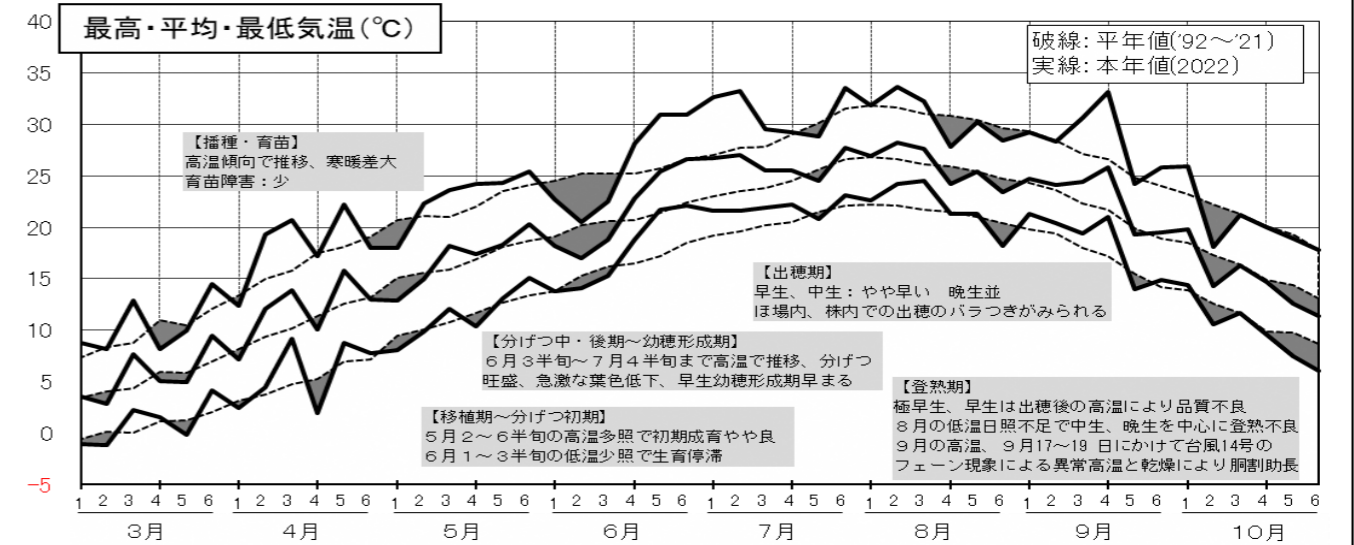
- ・新之助のいもち病対策及び後期水管理対策の徹底不足

- ・全量基肥施肥増加、追肥なしで栄養不足ほ場みられる
- ・気象変動(高温・強風等)に対する緩衝力の低下

- ・斑点米カメムシ類防除のズレ
(早生・コシヒカリ)

3 令和4年度稲作期間の気象図

観測場所：新発田市農業サポートセンター(新発田市下羽津)



4 次年度に向けた課題と対策「気象変動に負けない稲づくり」

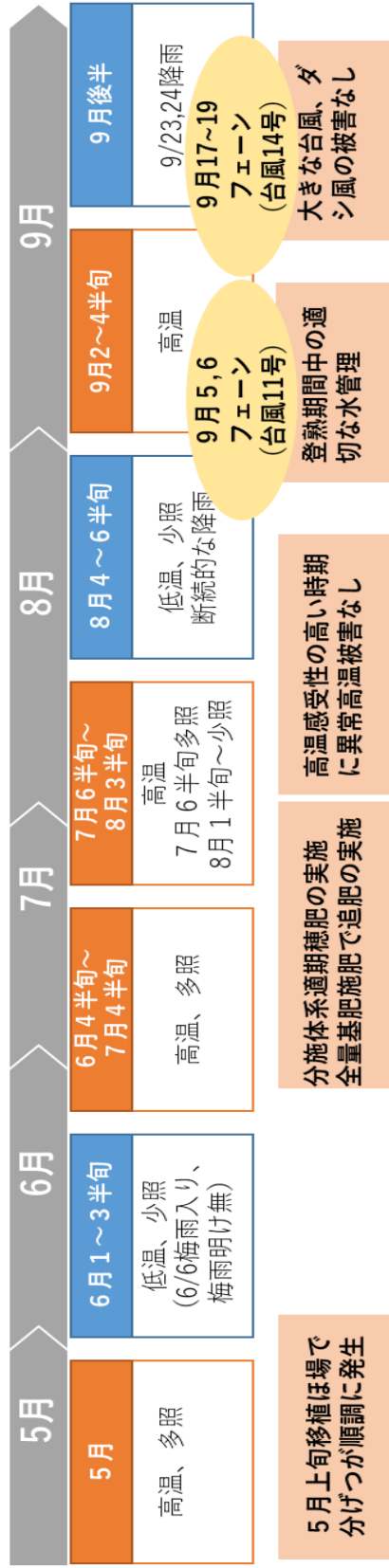
1 初期生育を促進し良質茎を安定確保

2 災害(高温・強風)に備えた適正な施肥(栄養補給)と土づくり

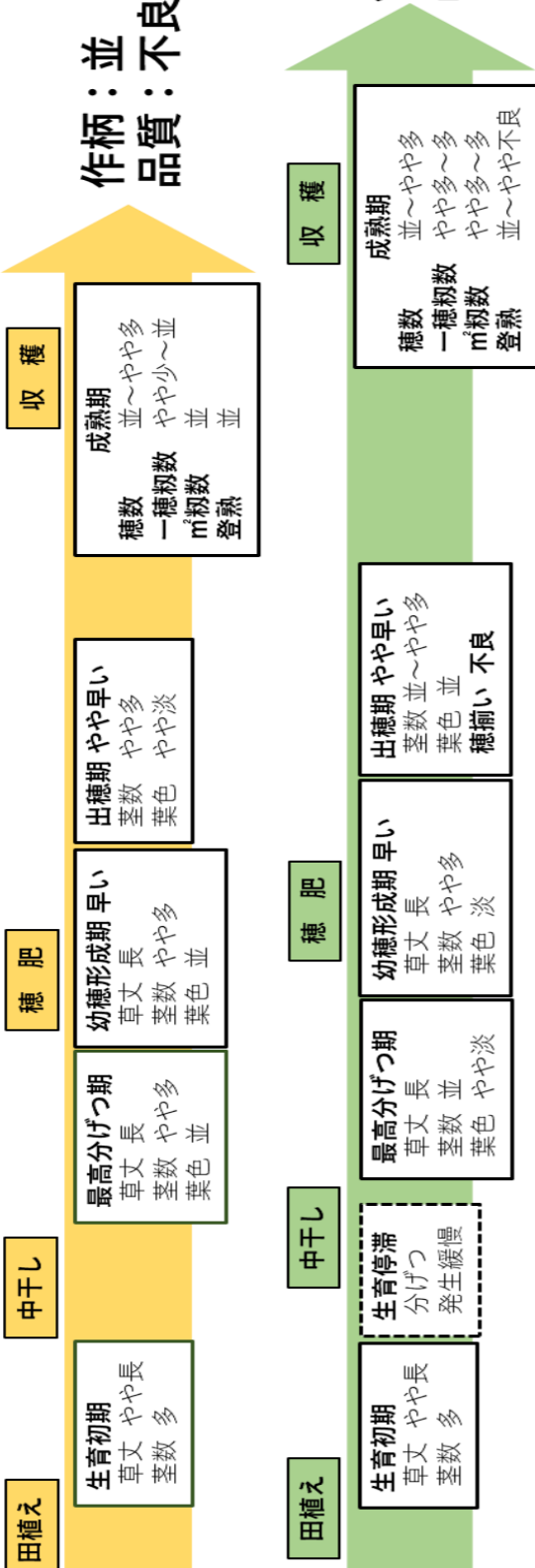
3 カメムシ防除等の徹底

- ・丁寧な耕耘と均平な代かき
- ・健苗の育成と適期移植
- ・田植え後の水管理徹底(除草剤の薬害防止等)
- ・気象変動に負けない栄養供給(ケイ酸質資材や堆肥等の施用や後期栄養(追加穂肥)の確保)
- ・共同防除+個人防除(適期防除)の徹底(早生だけでなく、多発生地域はコシヒカリでも実践)
- ・ほ場内及びほ場周辺のイネ科雑草の草刈り徹底

令和4年産米の作柄・品質要因(暫定)



稲の状態



一要因

- ワキや表層剥離、除草剤の薬害で一部生育遅れ
- 田植えの遅いほ場や初期生育不良で生育停滞ほ場、茎数急増ほ場で中干し遅れ
- 長草な稲姿 急激な葉色低下 全量基肥施肥で追肥の未実施
- 早生品種 登熟前半、高温登熟→白未熟粒 病害虫防除通期のズレ(斑点米発生) 早・中・晩生品種 8月以降、登熟不良、米粒の肥大不良→除青未熟粒 (成熟が遅いほ場ほどくず米多い)
- 登熟のパラつき 籾数過剰 収穫適期に降雨 刈り遅れほ場では倒伏、低水分籾(胴割れ)

育苗ハウスは 園芸施設共済へ

共済掛金等の試算例

- 間口4間×奥行12間 (160㎡)
- パイプの太さ 25.4mm ● 建築後10年以上経過
- 被覆経過年数 一般農ビ: 2年 耐久農PO: 4年 の場合

2か月被覆は **1,000円程度** の掛金

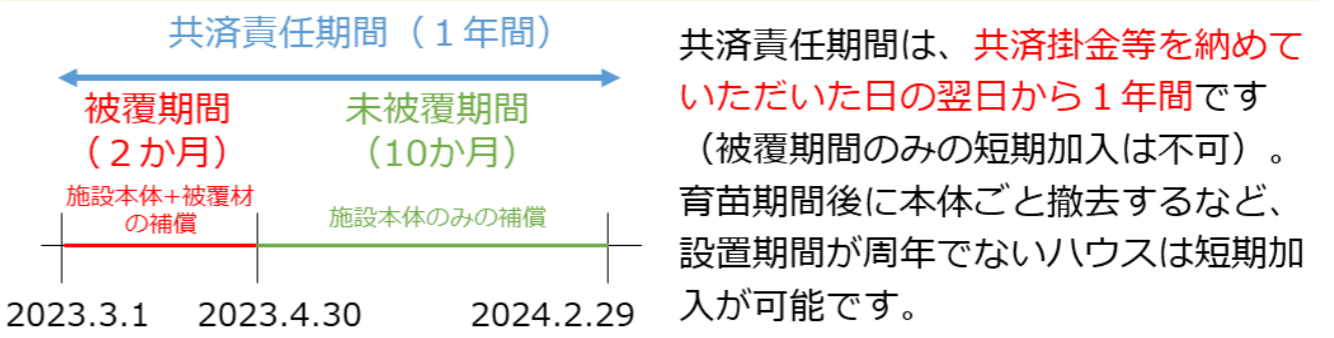
被覆材	被覆期間	本体共済価額 ①	被覆材共済価額 ②	共済価額計 ①+②	共済金額(補償額)	農家負担掛金等
一般農ビ	2か月	292,000円	46,240円	338,240円	270,592円	718円
耐久農PO	1年		59,500円	351,500円	281,200円	4,266円

※ハウスによって、お支払いいただく掛金等の額は変わります。

共済金の支払対象となる災害等

- 風水害 ● 雪害・ひょう害 ● 鳥獣害 ● 破裂・爆発 ● 火災・落雷
- その他気象上の原因 (地震・噴火を含む)
- 車両及びその積載物の衝突及び接触
- 航空機の墜落及び接触並びに航空機からの物体の落下

共済責任期間 (補償期間)



共済責任期間は、共済掛金等を納めていただいた日の翌日から1年間です (被覆期間のみの短期加入は不可)。育苗期間後に本体ごと撤去するなど、設置期間が周年でないハウスは短期加入が可能です。

「1万円特約」のご案内 ~小さな損害も補償する特約~

標準コース

損害額が **3万円** (または共済価額の5%) を超える場合に補償

1万円特約コース

損害額が **1万円** を超える場合から補償

※この特約は棟ごとに、ハウスの共済価額(時価額)が20万円を超えるハウスに付加できます。
 ※この特約に国の掛金補助はありません。

お問い合わせ: 新潟県農業共済組合 下越支所 TEL: 0254-33-3904